

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22011	事業名	空家等対策事業			
	事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助等 ☐ その他()					
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	02:住環境の向上			款	08:土木費
		施策の方向	02:安全・快適な住環境の整備			項	05:住宅費
	重点プロジェクト	-			目	01:住宅管理費	
	事業期間	H 29 年度 ～ R - 年度		主な根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法 ほか		

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	建設部
課	建築住宅課 住まい推進G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	空家の増加は、地域住民の生活環境へ悪影響を及ぼすとともに、市街地の空洞化や周辺地域の過疎化など、地域の魅力や活力の低下に繋がること懸念されるため、空家の利活用や適正管理を促していく必要がある。	空家所有者及び空家購入希望者	特定空家等の周辺に悪影響を及ぼす空家等への対策を講じ、住環境の維持向上を図る。また、空家の利活用を促進し、定住促進と地域活性化を図る。	空家等対策協議会において管理不全状態の空家等や特定空家等の適否や措置方針を協議し、適切な措置を講じる。また、空家の活用を促進するため、空き家情報バンク制度を通じて空き家の所有者と購入希望者のマッチングを行うとともに、空家等の改修に要する経費への助成を行う。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○特定空家等への対応 ○空家活用 ・空き家情報バンク制度 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付		○特定空家等への対応 ○空家活用 ・空き家情報バンク制度 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付		○特定空家等への対応 ○空家活用 ・空き家情報バンク制度 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付		○特定空家等への対応 ○空家活用 ・空き家情報バンク制度 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		認定していた1件の特定空家等は行政指導によって売却に繋がり、全ての特定空家等が解決となった。管理が不十分な空家に対しても、文書や訪問等により適正管理を依頼した。空き家情報バンク制度は、チラシを刷新した上で固定資産税等納税通知書に同封したことで所有者と購入希望者のマッチングに繋がり、空き家リフォーム支援事業についても、チラシを刷新し周知したことで補助金交付に繋がり、空き家の利活用ができた。		管理が不十分な空き家の所有者に対し、文書や訪問等により適正な管理を依頼した。また、県主催の空き家対策セミナー上映会を共催した。空き家の活用を促進するため、空き家情報バンクのホームページについて成約済物件を一覧にするなど、所有者と購入希望者のマッチングにつながるよう更新を行った。		平成30年の調査で空き家と判断した物件及びその周辺を再調査し、それらの結果を基に11月に空家等対策協議会を開催した。屋生まちづくり協議会主催の空き家の勉強会に出席し、空き家の活用促進、適正管理を促すため、空き家情報バンク制度を中心に市の空家等対策事業について説明を行った。		管理不全空家等の所有者に対し、適正な管理を依頼する文書を21件、管理不全空家等以外の空き家所有者に対し、同様の依頼文書を37件送付した。また、特定空家等又は管理不全空家等の認定又は解除を行うに当たって「空家等に関する判定基準」を定めた。屋生地区まちづくり協議会主催の空き家情報バンク説明会に出席し、空き家情報バンクへの登録等について説明した。空き家リフォーム支援事業補助金を2件交付した。		
	計画額	事業費	事業費	3,500千円	911千円	3,500千円	1,937千円	3,500千円	1,695千円	3,500千円	1,197千円
			国・県支出金	1,500千円	465千円	1,500千円	625千円	1,500千円	600千円	1,500千円	375千円
			地方債		0千円						0千円
			その他		0千円						0千円
			一般財源	2,000千円	446千円	2,000千円	1,312千円	2,000千円	1,095千円	2,000千円	822千円
	決算額	事業費	事業費		911千円		1,602千円		1,577千円		1,066千円
			国・県支出金		359千円		690千円		726千円		308千円
地方債				0千円		0千円		0千円		0千円	
その他				0千円		0千円		0千円		0千円	
一般財源				552千円		912千円		851千円		758千円	
①期間内計画額(R4-7)		14,000千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		14,000千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	1,197千円
次年度への繰越額	0千円

	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	特定空家等の行政指導に対する改善率	改善済件数/指導件数	成果	%	計画値	100	100	100	100
					実績値	100	100	0	-
	空家活用件数	空き家情報バンクの成立件数及び補助制度を活用した空き家のリフォーム件数の合計	成果	件	計画値	5	5	5	5
					実績値	8	11	6	9
	空き家情報バンク新規登録件数		活動	件	計画値	10	10	10	10
					実績値	6	4	6	14

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	B	空き家の所有者に対し、市から適正管理の依頼文書の送付等をした結果、3件の管理不全空家等について、草木の伐採や適正管理が確認され、「空家等に関する判定基準」に基づき空家等対策協議会で諮り、認定解除に至った。また、令和7年度中の空き家情報バンクへの物件登録が14件、成約が7件あったほか、移住促進のための空き家リフォーム支援事業費補助金を2件交付し、定住・移住の促進、地域の活性化並びに空き家の利活用を促進することができた。
	まずまず成果を得た	

事業の対象	事業の目的
空家所有者及び空家購入希望者	特定空家等の周辺に悪影響を及ぼす空家等への対策を講じ、住環境の維持向上を図る。また、空家の利活用を促進し、定住促進と地域活性化を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	住環境の低下の原因となる特定空家等は現在4件、管理不全空家等は現在32件あり、今後更に増加が懸念されることから、空き家の所有者等に対して効果的な取り組みを模索しながら対策を講じるとともに、適正な管理を促していく必要がある。また、空き家を放置すると、老朽化の進行や草木の繁茂、小動物の住処になる等の問題が発生する可能性が高まることから、空き家になる前の啓発や対策が必要である。	

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	管理が行き届いていない空き家になる前に活用や除却等につなげるため、セミナーの開催や空き家情報バンクへの登録促進、移住促進のための空き家リフォームの補助金制度の周知等を行う。また、管理が行き届いていない空き家の所有者に対して、適正な管理を促すとともに除却工事補助制度等を案内する。	空き家の所有者や活用希望者への相談や情報提供、空き家の所有者からの委託に基づく空き家の活用や管理、市からの委託に基づく所有者の探索、空き家の活用又は管理に関する普及啓発などを行う、「空家等管理活用支援法人」の指定に向けて検討する。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	B	B	B
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

【履歴】

1次評価者	建設部 建築住宅課 住まい推進GL 中森 忠幸
最終評価者	建設部 建築住宅課長 種村 徳之